


「良書ご案内」 

書籍名	一億三千万人のための『歎異抄』	著者名	高橋 源一郎
出版社名	朝日新書	発行年月	2023年11月

私たちが歴史上の人物を読むとき、自分とは別の世界の物語として読んでいないだろうか？  
お釈迦さまも、法然も親鸞も確実に実在し、私たちと同様に悩み、苦しみ苦闘しました。  
今の私たちと脈々とつながって悩み多き人生を生きただけの人たちです。

『歎異抄』は1290年、親鸞の教えを正しく伝えるために弟子の唯円によって著わされた。

いまから850年前、1173年に親鸞は生まれた。平氏の全盛時代、平清盛が活躍していた。  
当時、下級武士の子供として生まれたら、出世の見込みもなく、多くの若者は出家して、比叡山に入った。  
現代の若者がとりあえず大学に行くように、とりあえず出家するのだ。  
1181年に清盛が亡くなり、「養和の大飢饉」もあり、時代は戦争と飢餓の時代に突入する。  
旱魃により農作物の収穫は激減、京都を含め西日本一帯が飢饉に陥る。土地を放棄する農民が多数発生し、  
地域社会が崩壊した。『方丈記』(1212年鴨長明)には、京都市中の死者は4万2300人と記されている。  
このような困窮した状況の時に、木曾義仲が上京し戦火を広げ、都は大混乱に陥った。

鎌倉時代の庶民の平均寿命は、天災による食糧事情と子供の多死もあって24歳と推定されている。  
この時代に生きる人達は、何を思い、何を考えて毎日を生きていたのだろうか？  
まずその日、その日を生きているのが精一杯だったろうと想像される。この様な時代背景があつて、新しい鎌倉  
仏教が次々と誕生した。

そんな折に、法然が比叡山を降りた。「どうもおかしい。自分が学び、自分が悟りを開き、自分が救われる。  
では今苦しんでいる庶民はどうなるのか？」  
法然は読み書きできない庶民のために新しい仏教を始めた。この法然の活動は革命的な出来事だった。  
その後、親鸞も下山して法然の弟子となる。  
1207年大事件が起きた。既存の他の宗派の僧侶による圧力によって朝廷が「専修念仏」を禁止、  
法然、親鸞を含む8人を流罪、4人を死罪とする歴史に残る宗教弾圧が起こる。  
魂の平安を求めるための宗教が、他の宗派と争い排斥する。それはいまの時代も変わらない。  
法然がいる、親鸞がいる、鴨長明がいる、平清盛がいる、源頼朝がいる…時代は貴族から武士の時代へ  
移行していく。大飢饉があり大戦争があった。たった800年前の出来事です。  
高橋の語る『歎異抄』は、鎌倉時代に生きる人達を身近に感じさせてくれる。

岩城

今年は正月早々、能登半島地震が発生。県内の高齢化率29.8%(R2国勢調査)、被害の大きかった輪島市46.2%  
/珠洲市51.6%/穴水町49.1%/能登町50.4%。高齢化の進むIJAの被害が甚大であったことが想像できる。

昨今、高齢者施設を開設する際に「有事の、地域の福祉避難所としての役割」を求められることが多く、定員の何割かを想定し  
引受るシミュレーションを考える、また前回の介護報酬改定で決まったBCP(事業継続計画)策定の義務化が今年の4月から開始。10月感染症  
や自然災害の発生を想定した計画で、4月からの介護報酬改定ではBCP未策定の事業者に最大3%減算/経過措置1年のようだ。  
ただ、今回の地震の様に、高齢者施設そのものが被災し、建物倒壊、断水、停電等が起きた場合の想定を実際に起きることとして  
職員も被災する中で、どのような対策を立て、地域、行政とも打合せをし、職員間で話合った結果を策定していきたい。

現に、能登北部の施設では80人近い入所者全員を石川県内の約30施設に分散して移送とある(2024/1/29朝日新聞)。施設長は  
「①最初の1週間は高齢者を生き延びさせるのに必死②その後の1週間は、無事避難先に送出すのに必死」と話す。穴水町の障害者  
施設は130人定員の入所施設、居住スペースが3棟に分かれ、天井が剥がれ、廊下に亀裂が入り、暮らせる状態でなく、施設内の体育館  
で過ごす。が、環境の変化や慣れない共同生活に気持ちが不安定になる方もおり、統括責任者は職員も被災している中、今後の見  
通しは今も立たないが、ここでいつか再開したいと話す(2024/1/9NHKニュース)移送する・しないの選択を厳しい環境下で、管理者  
は判断を迫られる。一方、環境の整わない避難所で過ごす高齢者は、身体機能や筋力が数日寝ただけで低下、ある避難所では6割  
発行所:株式会社ライブデザイン研究所

所在地:〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-4-87サビビル2F Tel 06-4708-6844 Fax 06-4708-7067 編集人 伊藤

